

脳神経センター研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

臨床医として、神経疾患の最低限必要と考えられる医療行為の実践を把握し、基本的知識・技能・態度を習得する。

II 行動目標 (SBO)

1) 必要な知識

- * 臨床医としての知識
 - ・ 医師としての法及び制度を説明できる。
 - ・ 臨床におけるリスクマネジメントを説明できる。
 - ・ カルテ、検査資料などを管理、保管できる。
- * 神経系の診断・検査・治療に関する知識
 - ・ 神経系の解剖が理解でき、障害部位を推定できる。
 - ・ 神経系の診断に必要な検査を選択し、結果を評価できる。
 - ・ 神経系の異常から、診断・鑑別診断を挙げられる。
 - ・ 神経系の疾患に対して、治療方法が説明できる。

2) 必要な技能

- * 基本的な身体所見・神経学的所見がとれる。
- * 神経系の検査方法を理解し、実施できる。
- * 神経系の疾患の治療を実践できる。
- * 症例のプレゼンテーションが適切にできる。

3) 求められる態度

- * 診察、検査などに際し、患者、家族への、配慮が出来る。
- * 臨床医として、他科の医師と適切に対応できる。
- * 臨床医として、コメディカルと協調できる。
- * 研修会、セミナーなどに積極的に参加する。

III 方略 (LS)

1) 病棟業務・救急業務

- * 入院・外来・救急患者の診察に参加し、頭痛、痙攣、意識障害、認知症、麻痺、不随意運動などの神経兆候を把握し、診療録に適切に記載する。
- * 脳血管障害、認知症、変性疾患、炎症性疾患の患者との対応を学習し、CT、MRIや脳波などの神経系特殊検査を適切に選択・解釈・実践できる。
- * 頚動脈エコー、髄液検査、脳血管撮影などの脳神経学的検査に参加し、実際の手技を経験する。
- * 中心静脈ルートや経鼻チューブなどを利用した非経口的栄養管理の適応を理解し、実践できる。
- * カンファレンスなどを通して、コメディカルとの協調を実践する。
- * 症例カンファレンスで、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。

2) 手術室

* 慢性硬膜下血腫やくも膜下出血などの基本的手術手技を習得する。

3) 研修会、セミナーなどへの参加

* 院内の各研修会、セミナー、院外の研究会などに参加する。